

第145回:新政治局委員をトす

中国について何か書くとき、まことに面倒なのが中国の固有名詞である。日中両国で使う漢字は完全に一致しているわけではなく微妙に異なっている。日本語で使用する漢字のベースは常用漢字であり、中国の最高指導者である党政治局常務委員(9名)のなかで、姓と名が日本の常用漢字で表記でき、読みやすい、書きやすい、覚えやすい人物は、呉邦国、温家宝、習近平、賀国強、周永康の5人だけだ。胡錦濤は「胡」と「濤」、李克強は「李」が常用漢字ではない。因みに、5人のなかで簡体字表記でも日本で通じるのは温家宝と周永康のみ。呉邦国は「吳邦国」、習近平は「习近平」、賀国強は「贺国强」となる。賀国強の「強」の右上が日本語では「ム」のところ、中国では「口」と微妙に異なっているのが分かるだろう。

今月の15日に誕生する最高指導部の政治局常務委員は習近平・李克強の再任組(重任組)を除く全員が、ヒラ政治局委員からの昇任と予想されている。薄熙来が失脚したため、ヒラ政治局委員はひとり減って現在15名、そのなかで高齢者7人の引退が既に決まっており、昇格の資格があるのは、王岐山、劉雲山、劉延東(女)、李源潮、汪洋、張高麗、張德江、俞正声の8名である。そのなかから最終的に5人、ないし7人が昇格することになる。仮に今回5人が昇格し、選に漏れた3人が政治局に留任するとなれば、新たに12名から14名程度の新政治局委員が親補されることになる。このうち、軍事委員会副主席に就任したばかりの范長竜と許其亮は制服組の政治局委員として当選確実だから、残るは10~12名となる。

筆者の予想と云っても有力者の経歴に、各種情報をこき混ぜた八卦占のようなものだが、こんな顔触れが狙上に上がっているはずだ。郭金龍(北京)、袁純清(山西)、張慶黎(河北)、胡春華(内蒙古)、張春賢(新疆)、劉奇葆(四川)、郭声琨(広西)、周強(湖南)、張宝順(安徽)、孫春蘭(女・福建)、孫政才(吉林)、以上の11名は全て地方行政官であり、三国志でいえば袁紹・曹操・孫堅といった諸侯に相当する。加えて、君側の大尉や尚書に当たるのが、栗戰書(中央弁公庁主任)、令計画(中央統一戦線工作部長)、王滬寧(中央書記処書記)だ。地方行政官の格は派遣地で決まる。GDPは低くても隣国と接し少数民族も多い吉林、内蒙古、新疆ウイグルの地政学的意味は大きく、行政官は逸材揃いである。同じ発想で毛沢東や劉少奇を輩出した革命聖地の湖南に凡庸な人物が派遣されるわけがない。邦銀の高田馬場支店長に慶応大学OBを、三田支店長に早稲田大学OBを起用するようなヤボを中国共産党は許さない。

肝心の人事だが、11月15日つまり明日には新執行部が決まるそうだが、権力闘争は深夜まで続くかも。江沢民派は86歳の御大自ら髪を茶髪に染め、陣頭指揮を執っている。中国の政治家でヅラ疑惑は聞いたことがないが、政治局の委員たちは全員が髪を黒く染めており、これが中華ノーメンクラツウラの共通項だ。今回の18回大会では存命の長老たちが陸続と人民大会堂に集結し正面の主席台に並んでいたが、なぜか江沢民が黒髪を茶髪に変えていたのと、現役時代は真っ黒だった朱鎔基(前首相)の頭髪が真っ白に変わり、誰もが畏怖した彼の鋭い眼光がすっかり好々爺然としていたのが印象的であった。

閑話休題。前回のコラムでは少し遠慮し「権力闘争は情報戦の様相を呈している」とぼかしたが、正直に

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

表現すれば「権力闘争は砲撃戦に突入した」ようだ。なにしろ常務委員当確者は習近平、李克強、王岐山の3人のみ。中傷誹謗が乱れ飛び、常務委員をほぼ確保していた薄熙来(政治局委員)が失脚するや、彼の盟友であった周永康(政治局常務委員)が薄熙来事件に連座するのではないかとこの噂がネット上を駆け巡った。その噂が鎮まった矢先、今度は習近平一族が香港で数多くの豪邸を所有しているという疑惑が浮上し、最近では温家宝ファミリーの27億米ドル蓄財情報が記憶に新しい。拳句の果てには胡錦濤の側近で長らく彼の大番頭を勤めてきた令計画(前弁公庁主任)の息子が真っ赤なフェラーリを運転中に事故死し、しかも同乗の全裸・半裸の美女2人も重傷を負ったと云うスキャンダルまで飛び出し、その所為か令計画は大会の直前に統一戦線工作部長に転出してしまい、今回の政治局入りが危ういと、専らの噂である。胡錦濤派では胡春華と並ぶ共青团のエース周強も湖南省内の民主活動家・李旺陽氏が「物理的にあり得ない疑惑の首つり自殺」を遂げた事件に巻き込まれ、これが香港の数万人デモに発展したことが、今回の政治局入りとの関係で注目されている。

中国ではいま江沢民派・太子党・共青团、日本で云えばむかしの三派全学連のような勢力が入り乱れ、カネや女まで巻き込む何とも情けない争いが展開中のようだ。アカの他人から見ると「アサヒ芸能」記事より面白いスキャンダル満載で興味は尽きないが、あす常務委員(規律検査委主任)に昇格するはずの王岐山の岳父・姚依林が生きていれば激怒して「精神汚染キャンペーン」を再発動させたことだろう。

例によって何の役にも立たぬことを書いてしまったが、駄文といえども中国の人名や地名が飛び交う文章をパソコンで打つのは骨が折れる。そのためにはPCの辞書機能を日々アップグレードしておく必要があり、筆者のパソコンで「せいじきょくいん」と入力すると、即座に「郭伯雄徐才厚李源潮回良玉張徳江王岐山劉雲山劉延東王兆国王剛汪洋俞正声王樂泉劉淇張高麗」と変換されるようになっている。困るのが日本では馴染みの薄い漢字の取り扱いである。尖閣諸島問題で「日本が中国領土の釣魚島を盗んだ」と凡そ大国の外務大臣らしからぬ言を弄した楊潔篪の「篪」は、彼の品性とは真逆なミヤビな横笛の意として、日本語にもちゃんと存在する。いちばん困るのが中国の電気ニッケルメーカー新疆新鑫鋳業(03833.HK)の「鑫」のような日本語にない漢字だ。あしたどんな連中が中国の頂点に立つか知らんが、新しい陣容が決まり次第、パソコン辞書に新政治局委員や新中央委員の名前を追加する作業を控えている立場から云わせて貰うと、頼むから日本語にない漢字を持つ人物は偉くならないで欲しいものだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年11月14日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。